

2024 年度 自己評価公表

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
 聖隷こども園こうのとり東

聖隷こども園こうのとり東 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を目指します。

- * 愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- * 一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- * 自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- * 在園・地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

「保育者のための自己評価チェックリスト～保育者の専門性向上と園内研修の充実のために～」を使用し、職員が自己評価を行いました。自己評価の結果から見えてきた、園としての課題を次年度の取り組みにつなげていきたいと思ひます。

	自己評価・課題
第2章 「ねらい」及び「内容」 乳幼児保育に関わる ねらい及び内容	「授乳は個人差やその子どもの欲しがる時を尊重して行っていますか」 園ではゆるやかな育児担当制を行っており、子どもそれぞれの生活リズム等に 合わせて担当が食事を行っています。また、子どもからお腹が減ったと訴える際 には臨機応変に対応する「ゆるやかさ」も持ち合わせて関わっています。
第2章 「ねらい」及び「内容」 5. 保育内容「表現」	「楽器などを作って演奏するなど子どもが自ら製作した物を活かして遊べるよう工 夫していますか」「お話を基に様々に演じるなど一つの教材で幅広く表現活動を楽し めるよう心掛けていますか」 チェックリストを基に自分たちの弱みについて話し合ったところ、子どもも大人も楽器に 触れる機会が少なくなっていることに気付きました。楽器の扱い方が分からなかったり、 雑に扱ってしまうことに気付きました。楽器遊びが得意な職員もおり、その職員が 中心に楽器の扱い方や楽しさを子どもにも伝えていきます。また、子どもたちが遊 びたい時に触れられるように環境を整えていこうという話になりました。
全体として	・全職員を対象にチェックリストを5月頃に行い、集計をすると園としての弱い部分 が見えてきた為、11月に職員同士でディスカッションを行いました。話をすることで、 春に比べて変わってきていることや、園を取り巻く資源（職員、保護者、地域の方、 保育用品等）を見つめ直し、力を借りながら得意な部分等は任せていく等の話し合 いがされました。 ・現在、乳児クラスを中心にゆるやかな育児担当制を取り入れ、子どもの主体性を 大事にした関りをしています。少しずつ定着して、チェックリストを行った春に比 べ、話し合いをした秋頃には自信を持ってできていると言える職員が増えていま した。また、これからも保育の質を上げていけるよう、外部の研修に参加したり、 多くの職員が参加できるよう園内でも職員研修を定期的に行ったりしています。